

画像でみる当校の特色

～人，まち，自然がわたしたち「みんなの」学校～

新潟市立 庄瀬小学校
校長 高島 純

交通安全教室（自転車通学を含む広い校区）



自転車実地訓練の充実



学校運営協議委員会の提案①: 高齢者の願いより

(PTA総会時: 令和3年4月23日)

保護者の皆さん

庄瀬地区社会福祉協議会
会長 中丸文吉

「絆メール」のお誘い

本日持ち帰った「官製はがき」2枚は私ども「庄瀬地区社会福祉協議会」からの寄贈品であります。

コロナ禍、私どもの活動や日々の生活の中、心配されるのがお年寄りが吐露する心細さや弱気な言葉です。病に罹っても「会いたい人に会えない」「行きたいところに行けない」行動を制限され生活を楽しめない日々、「孫や幼子の成長」が「和ごみ」であり「励み」「喜び」であったお年寄りにとって、昨春は「お盆になれば」が「正月」になり、この「GW」で一年以上再会できてない、先行きも見通せない不安と焦燥。

それを裏返せば、成長期の子供達が大勢の人と交流することで見守られ安堵しつつ成長出来る環境が損なわれている事にほかにありません。コロナ禍の子育て、さぞやご苦心のこととお察し申し上げます。「子どもは意味が分かるから頑張れる」「何を目指すかが分かるから頑張れる」「見通しが立つから頑張れる」そして「楽しいから、仲間がいるから続けられ」そんな「頑張り」も、未だその正体を掴めず対策は手探り、見通しも立たない、その不条理をどう説明し指導したらいいのか、そもそも我々大人の言動すら問われ振り返る昨今です。

2枚の「はがき」に「会いたくても会えない人・成長を見守ってくれてる人」に近況をたくしてほしいのです。4月は大学に進級という新たなスタートで節目でもあります、担任の先生のこと、新学年の抱負などを手作りのパステル・絵の具・墨や版画。習った技が施されていたら一層喜んでもらえると思います。(みなさんには寄り添って頂ければ成長が確認頂けると思います。)尚、同居の年寄りも忘れないで!!.....最も心配してるんだから.....

要は「年賀はがき」の春版(コロナ禍さえなければ4月は門出であり、行楽にまさに「GW」)疎遠にだけはならぬよう気軽に取り組んで下さい。

コロナ禍はわが国の弱点を気付かせ「デジタル化」「AI」の拡充は国際レベルにまで劇的に伸展することでしょう。学校ではオンライン授業にGIGA授業とすでに起きています。

新たな変化に格差が生じては成らないのです。皆さんにとって掛け替えない存在であるお子さんは、地域にとっても同じです。その健やかなる成長を関わるすべての目で見守りたいのです。

来る「GW」、親子で「テーマ」としてお取り組みいただき「絆」を大切にしつつご意見を賜りたくご案内申し上げます。

「絆」メールのお願い

コロナ禍、会いたくても会えない、成長を見せられないジ～ジとバ～バに「つながり」を「はがき」にたくして近況をお知らせ下さい。パステル・絵の具・墨や版画習った技を使ってガンバッテください。「絆」を感じるにのほ？それは相手を思うことです。(同居のジ～ジ・バ～バも忘れずに…きっと喜んでくれるよ)

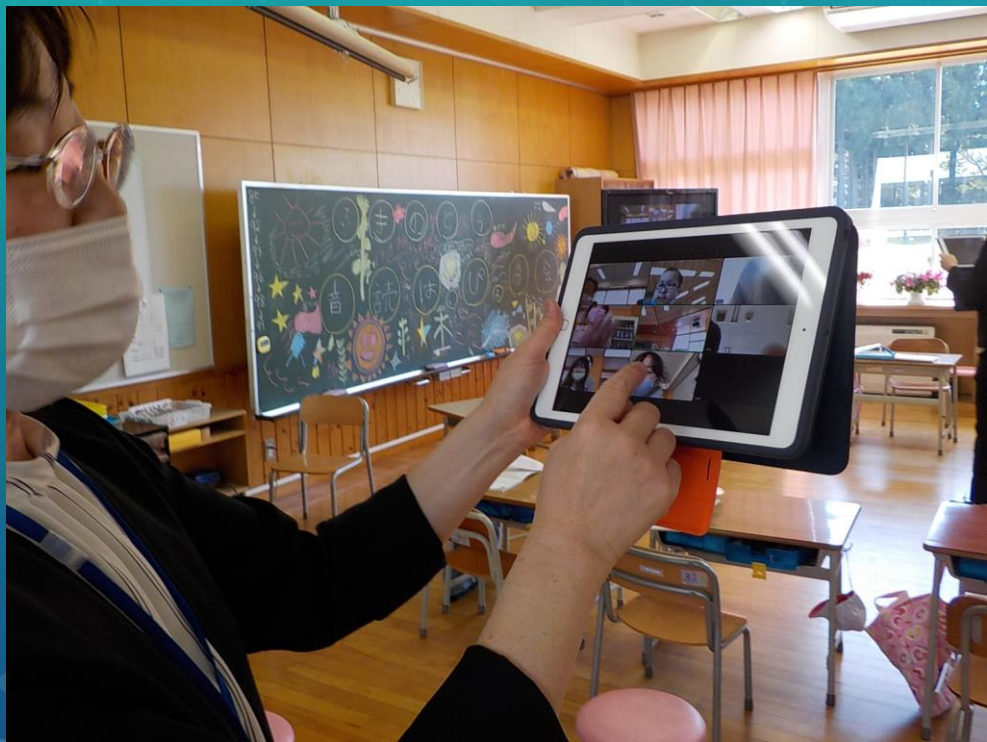
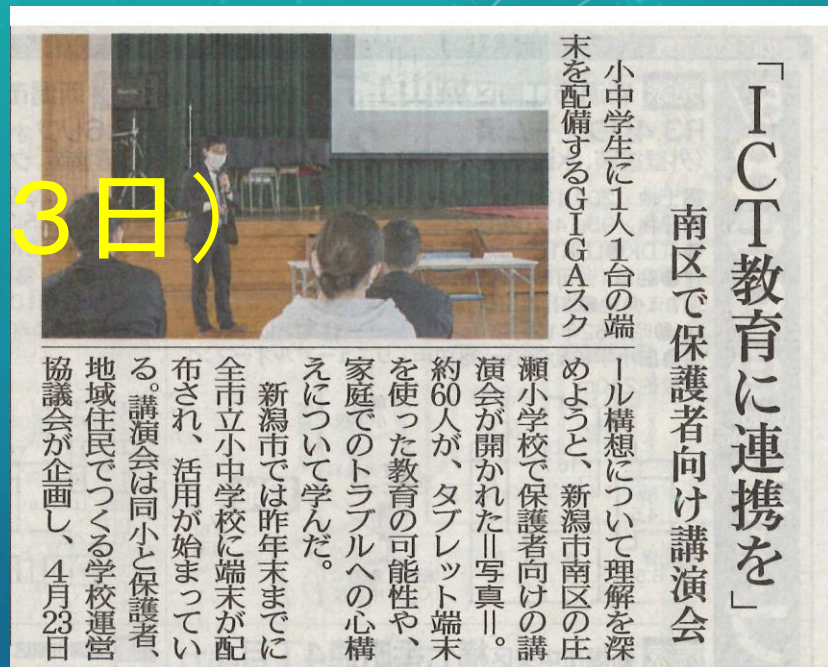
コロナ禍も1年を越え、生活が制限され行きたいところに行けず、会いたい人に会えず生活を楽しめない日々。お年寄りのなかには孫(みなさん)の成長を随一の喜びとするジ～ジ・バ～バがたくさんいます。会えないさびしさはみなさんも同じでしょう。入学・進級と成長の節目のことや時期、担任の先生のことや友達のこと、一年の目標を習った技を使って郵便りして下さい。社協のジ～ジより



学校運営協議委員会の提案②

(学習参観・PTA総会：令和3年4月23日)

保護者に啓発(一人一台タブレット端末)



に実施。ICT(情報通信技術)教育に詳しい上越教育大の大島崇行准教授(43)が講師を務めた。

大島准教授は、端末を使って遠方の児童と交流したり、クラスの児童の作品を共有したりする活用の事例を紹介。「端末はノートや鉛筆のように当たり前の学びの道具になっていく」と解説した。

「ICT教育は学校と保護者が連携して進めること

が大切だ」と強調。端末を家庭に持ち帰った際に心配されるインターネット上のトラブルについて、「課題を生きた教材にできるよう、保護者の目の届く範囲でいろいろな経験をさせてほしい」と呼び掛けた。

1年生と4年生の子どもを持つ羽入卓也さん(33)は「家でも学校と同じように決まりを守らせて、楽しく端末を使ってもらいたい」と話した。

小中連携(防災:白南中)



庄瀬小学校区地域合同防災（地域連携：模擬避難所開設）



田植え(黄金餅)





稲刈り(収穫に向けて)



稲刈り(地域のボランティアの協働)



全校サツマイモ植え(庄瀬っ子ファーム)





全校さつまいも掘り(庄瀬っ子ファーム)



白根大凧の歴史：子ども大凧（凧絵：堀部安兵衛）







赤穂浪士：堀部安兵衛（幼少期：中山安兵衛）

※ 庄瀬地域縁の歴史上の人物



新時代に向けての取組

小学校 外国語教育における外部との連携

ICT教育活動(オンライン学習 等)

プログラミング学習

※ 外部講師, 他校等との連携

外部講師(坂井先生 敬和学園大学:外国語)



外部講師(大岩先生:英語活動 敬和学園大学)



オンライン同時配信合同授業(岡谷田中小学校と)



学生とのリモート交流



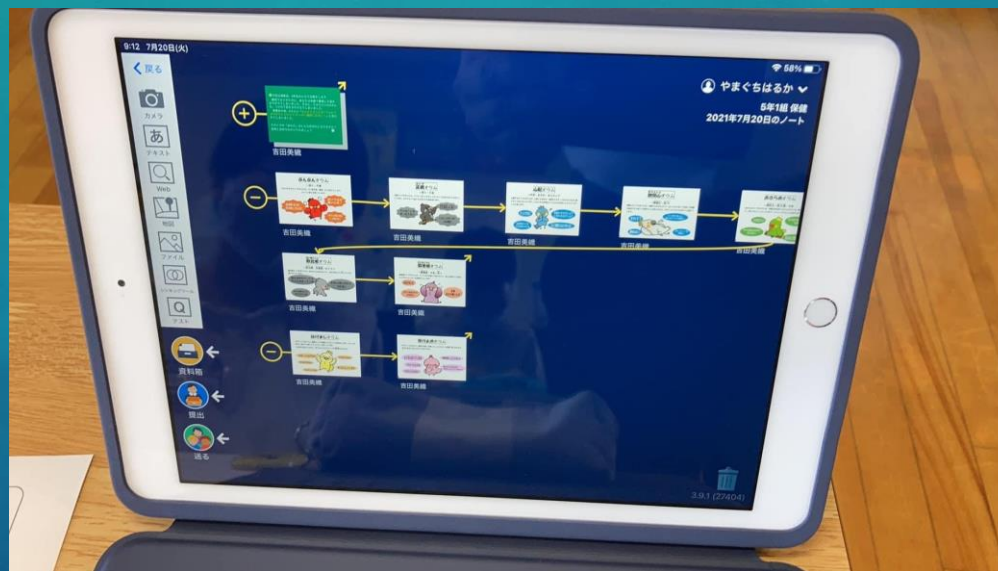
近隣校に授業配信



中学校区の小学校がリモート参観)

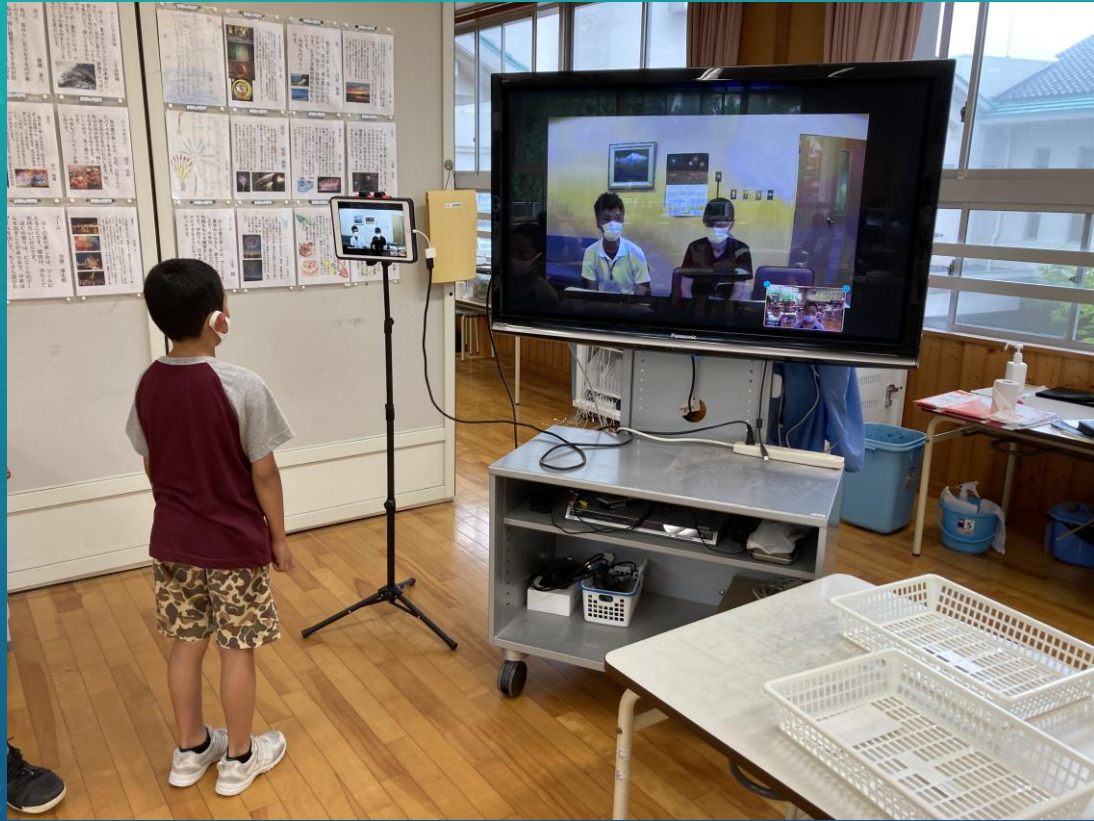


一人1台タブレット端末(ロイロノートを活用した授業)



授業者全員が日々使用しています。(画像は養護教諭:保健)

ZOOMの活用(地域の施設や他校の児童とのリモート交流)



プログラミング学習（リモート出前授業）



長谷川春生先生
(富山大学教職大学院)

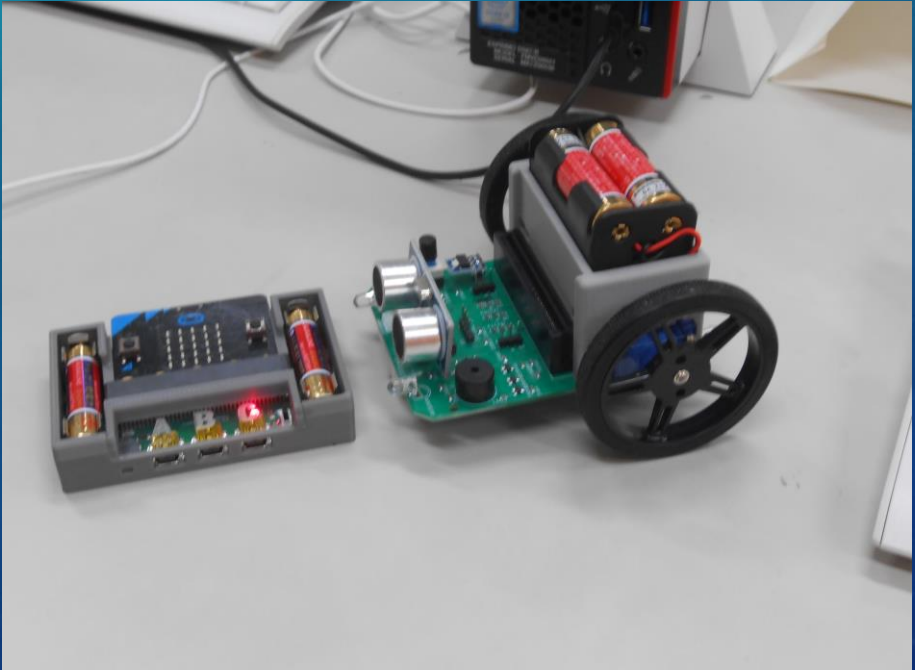
プログラミングとは？





職員研修

水落芳明先生
(上越教育大学)

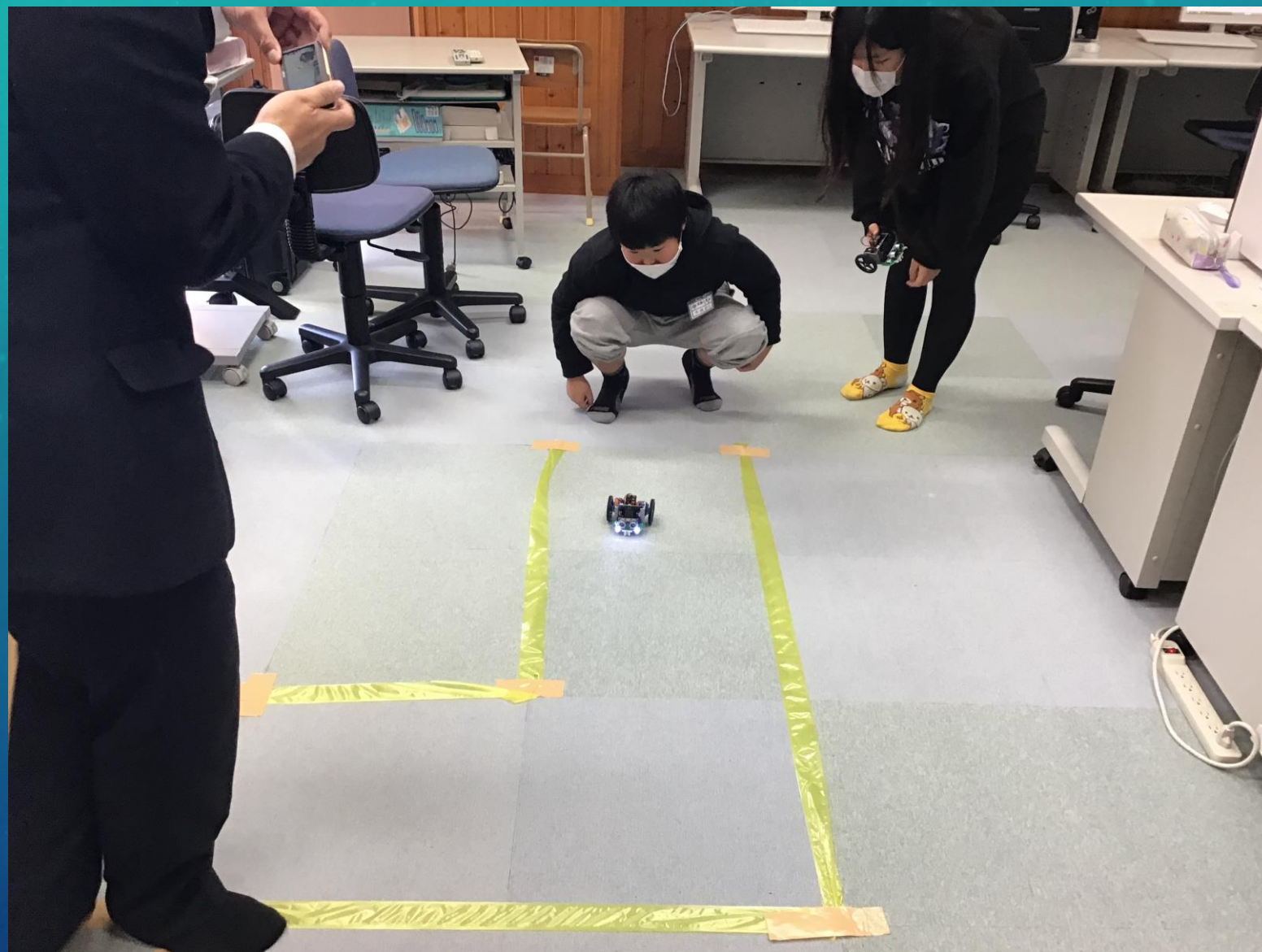


齋藤 博先生
(ユーレカ工房)

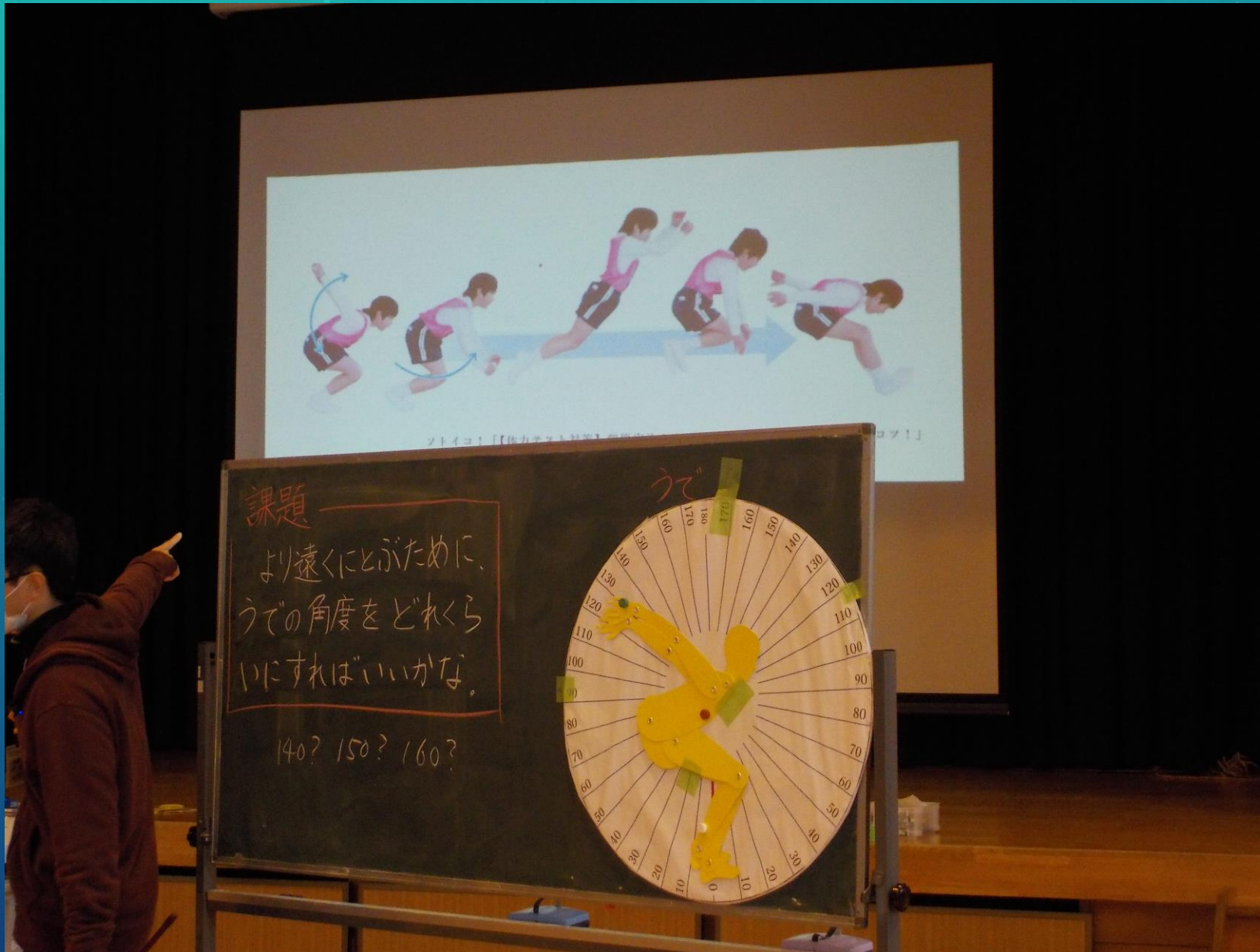
自動運転車を作ろう



さあっ、走らせてみよう



プログラミングで立ち幅跳び(マイクロビットの活用)



さあっ、跳んでみよう



隨時追加更新予定